

問題・目的

女子大学は大学内に異性がないため、恋人ができにくいという考えが一般的である。確かに恋人がいない人もいるが、恋人がいる人もいる。なぜ、恋人ができにくいという考え方が一般的にある女子大学の中で、恋人がいる学生が存在するのだろうか。その理由として、私たちは恋人に求める条件が異なっているためであると考えた。

そこで、女子大生にインタビュー形式で質問し、女子大生が恋人に求めること（要素）を調査することを目的とする。

方法

**実験参加者** 椋山女学園大学に在学する安立ケースメゾットⅢを受講する女子学生 10名

**調査日時・場所** 2017年10月11日、18日 椋山女学園大学日進キャンパス2号棟111教室において半構造化面接を用いて行った。調査後は実験参加者10名をそれぞれAからJまで名前をつけ、KJ法を用いて「恋人がいる」「恋人がいない」で分けた。

**質問内容** 恋人に求めることは何か、その理由、求めるものの中でも一番譲れないものは何か。

結果

「恋人がいない」実験参加者A、E、G、HをKJ法でまとめた結果を図1に示した。

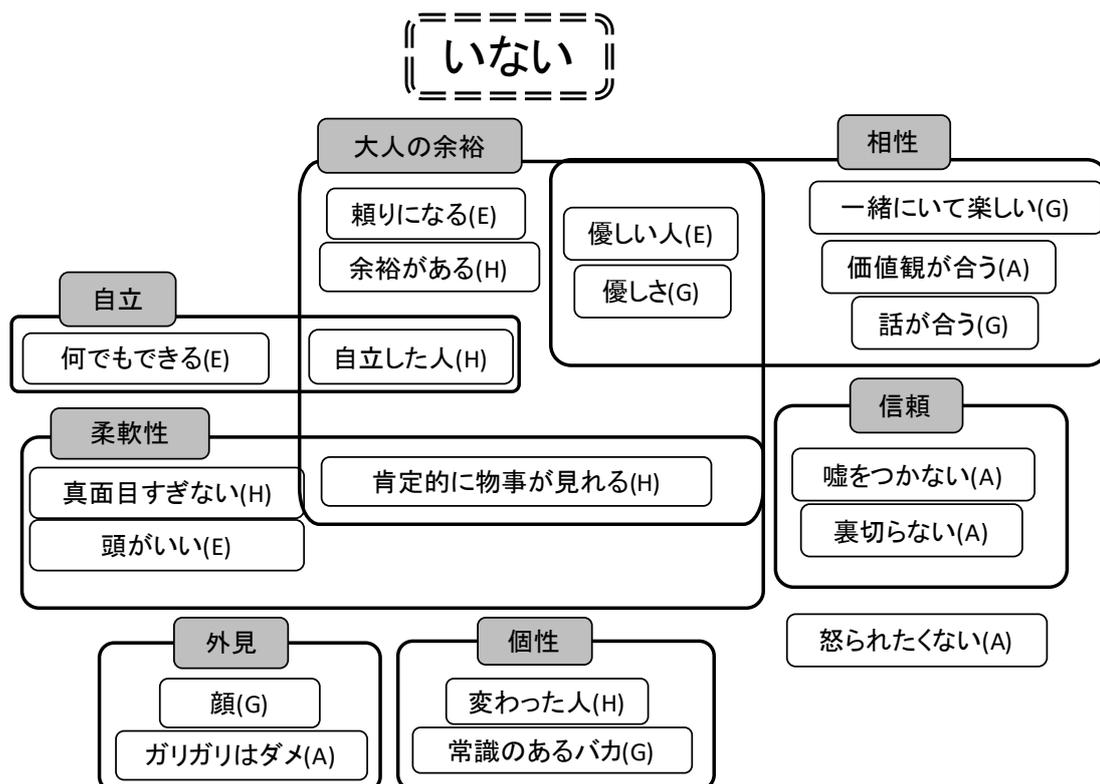


図1より、恋人がいない女子大生が求める恋人の条件は、「大人の余裕」「相性」「自立」「柔軟性」「信頼」「外見」「個性」という7個の項目に分けることができ、その他「怒られたくない」はどの項目にも分けることができなかつた。7項目の中でも「大人の余裕」は「相性」の項目にある「優しい人」「優しさ」と「自立」の項目にある「自立した人」と「柔軟性」の項目にある「肯定的に物事が見れる」を含んでいることが分かつた。

「恋人がいる」実験参加者 B、C、D、F、I、J を KJ 法でまとめた結果を図2に示した。

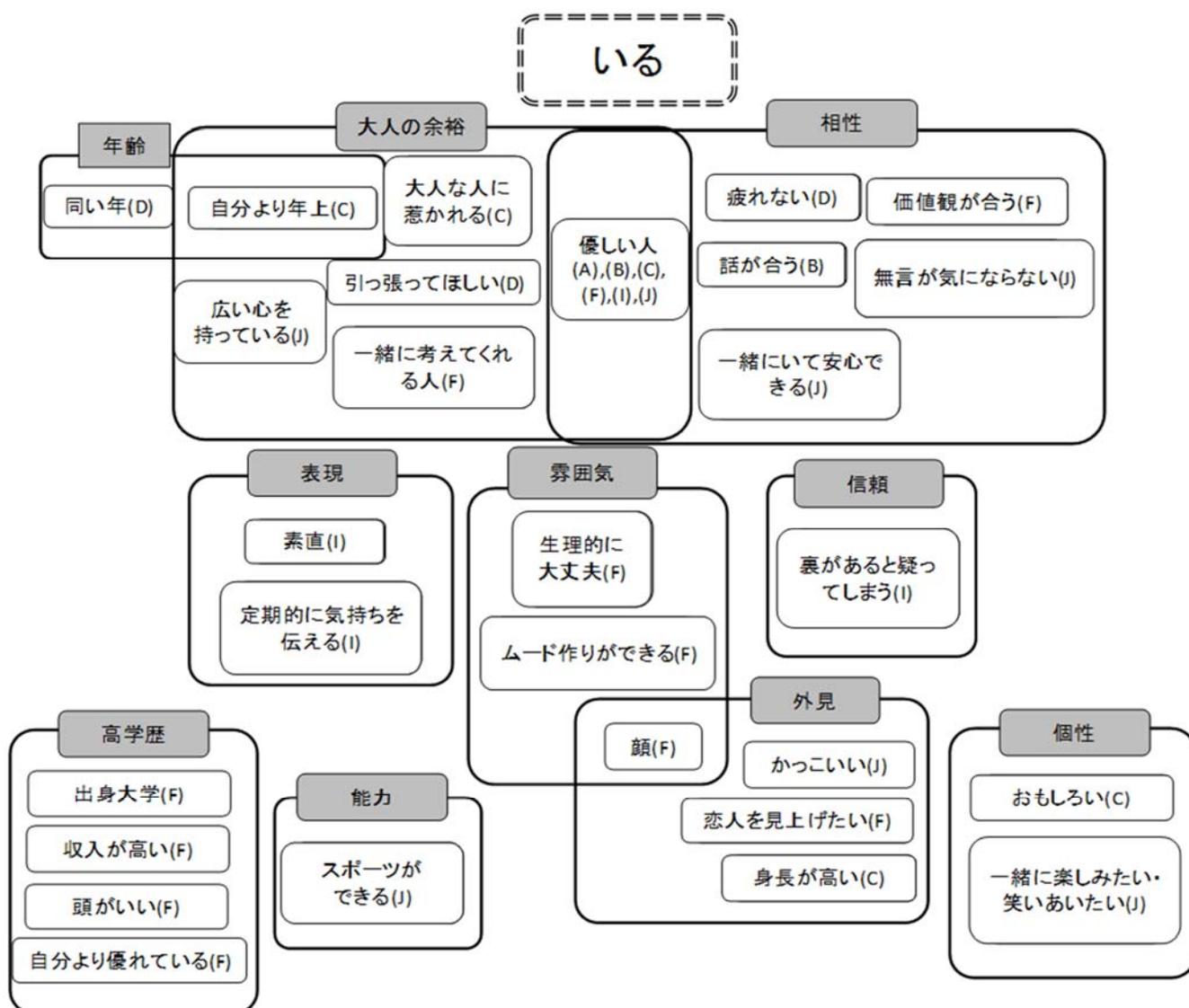


図2.いるグループ

図2より、恋人がいる女子大生が求める恋人の条件は、「大人の余裕」「相性」「信頼」「外見」「個性」「年齢」「表現」「雰囲気」「能力」「高学歴」という10個の項目に分けることができた。相性グループと大人の余裕グループでは、図1にくらべて内容が具体的である。

個性グループでは「一緒に」なにかをしたいと考えている人もみられる。「いる」「いない」グループで共通して優しい、価値観が合う、頭がいいなどがみられた。

## 考 察

以上の結果から、いない人は「嘘をつかない」「裏切らない」などというマイナスな項目も多いため、過去に何かあったか、いなくて理想化しているのではないかと考えられる。そして、「変わった人」「常識のあるバカ」など物差しでは測れない抽象的な条件が見られたことも、理想化の原因の一つであると考えられる。

反対に、いる人はいることによって現実味が湧くためか回答の量が多く、「身長が高い」「高収入」「高学歴」といった物差しで測ることができる条件が見られ、具体的な内容になっていると考えられる。

そして、いない人といる人に共に共通して求めるものが3つあった。それは、「優しい」「価値観が合う」「頭がいい」である。この3つは外見的なものではなく、内面的なものであることから、女子大学生は根本的に重視して求めるものは内面性であると考えられる。

最後に、この調査の問題点として2つ挙げられる。1つは過去の恋愛について調査しなかったため、いない人のマイナスな項目の直接的な原因は分からなかったことから、過去の恋愛についても調査する必要があると考えられる。もう1つは、「いる」と答えた参加者に出会いのきっかけなどを聞くとより深い考察ができたのではないかと考えた。